

2010年6月2日(水) 17:00-18:00

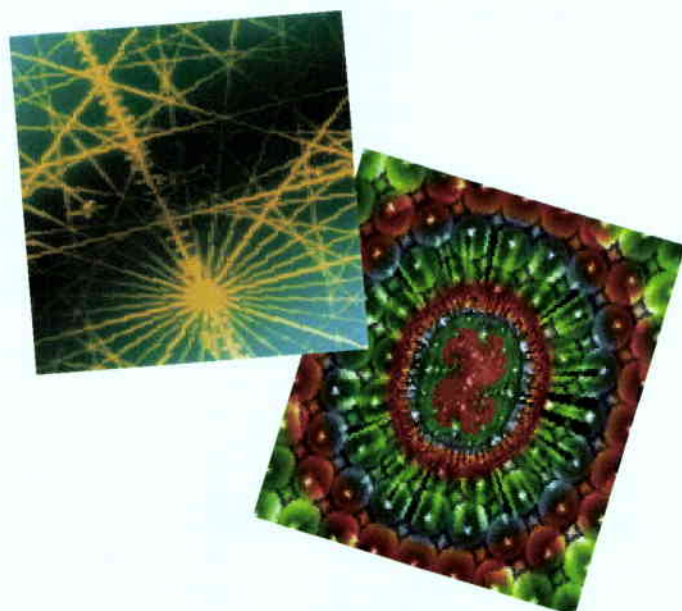
神戸大学理学部 B 棟 428-430 号室 (B 棟 4 階奥)

Young グラフ上の調和関数の Martin 積分表示に関する話

洞 彰人 氏 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科)

Young グラフは対称群の既約表現の制限・誘導の既約分解のしかた(分岐則)を記述する。Young グラフ上の正規化された非負調和関数と無限対称群の有限型の表現の指標が対応し、それらの端点(極小な存在)はしばしばThoma単体と呼ばれる無限次元の単体によってパラメトライズされる。それはYoungグラフのMartin境界にほかならない。そのThomaパラメータの関数とみなせば、Youngグラフ上の極小調和関数は超対称なSchur関数で与えられる。そしてYoungグラフ上の一般の調和関数は、そのような超対称Schur関数を核にもつ積分表示を有する。このあたりのことをなるべく基礎的なところから始めて確率論的な視点に少し重きを置いて解説する。さらに、B型Weyl群や複素鏡映群を含むようなコンパクト群の無限対称群による環積への拡張に触れる。もともとなるコンパクト群が非可換な場合は、その既約表現の次元を反映した多重辺を持つようなYoungグラフの一般化が必要になる。

同日 16:30 より 数学教室談話室 (B 棟 4 階) において講演者を囲んでお茶会を開きます。
皆さまお気軽にご参加下さい。



問合わせ先: 神戸大学大学院理学研究科数学教室
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1
電話: 078-803-5605 (渡邊 清)
EMAIL: watanabe@math.kobe-u.ac.jp